

今月の表紙

## 満開のそば畑

(撮影:井上 信明様)

第7回「がんばろう熊本 未来に伝えたい農業・農村の風景」  
フォトコンテストで、入選された方の作品の中の1点です。

- 県選出国會議員・県農政議員連盟への緊急要請集会を開催
- 種子の安定供給に向けた条例の制定を要請
- 日米貿易交渉9月下旬に署名へ
- 参議院議員藤木しんや氏コラム
- 参議院議員山田としお氏コラム
- JAかみまき青壯年部活動報告
- 中央会・連合会からのお知らせ

## 農政連情報

# みどりの風

2019(令和元)年 OCTOBER vol.357



あぜみち

主要農作物種子法（種子法）は、戦後の食糧増産という国家的要請を背景として昭和27年に制定され、稻、麦や大豆種子の国内自給確保と食料安全保障に多大な貢献をしてきた。半世紀にわたる取り組みの結果、その種子の品質が安定し、全国一律での奨励品種決定や原種・原原種の生産義務付け等を法制度として措置する必要性は乏しくなり、民間事業者が参入しにくい面があるとの理由から同法は昨年4月をもつて廃止された。

これを受け熊本県は「熊本県主要農作物種子生産改善対策事業運営要領」を施行し、引き続き県の責務として種子生産体制を維持・継続するとともに、種子生産にかかる予算の増額、審査員の増員などその体制強化を図っている。

しかしながら、県内盟友の方々から種子の安定供給や品質維持等に対し、不安を持つ意見が多く寄せられたことから、県農政連としてもその不安払拭のため、県知事や県議会議長に対し、種子の生産にかかる条例の制定を求める要請を行うとともに、県議会に対する請願書を提出した。

請願書の受理を受け、今後県議会で議論と採択が行われ、次期県議会の定例会で条例化が実現するのではないかと考えている。種子法の廃止や国際貿易交渉、農協改革等により農業者の不安をあおるようなことがあつてはならない。

政府は日本農業や食を守るために、一次産業の再生と活性化を後押しする政策を実現し、農業者の不安払拭を行う必要がある。

## 発行/熊本県農業者政治連盟

熊本市中央区南千反畠町2-3 電話 096-328-1284

編集責任者 中村 隆宏

発行日/令和元年9月15日 毎月1回(5日発行)

定価/1部50円(但し、会員の購読料は会員の中に含む)

# 県選出国会議員・県農政議員連盟への緊急要請集会を開催

J.Aグループ熊本と熊本県農業者政治連盟は9月1日、ANAクラウンプラザホテル熊本「ユースカイにおいて「県選出国会議員並びに県農政議員連盟への緊急要請集会」を開催し、県内の生産者代表や農政連・JAの役職員など約120名が参加しました。

県農政連の安武孝之副委員長の開会あいさつ後、J.Aグループ熊本から野田衆議院議員と前川県農政議員連盟会長（民主党県連会長）へ要請書が手渡されました。



▲緊急要請集会に参加した県選出国会議員と県農政議員連盟

主催者を代表し、あいさつに立った県農政連の宮本隆幸委員長は「生産現場では、TPP11や日米貿易交渉など、市場開放への不安が広がっている。近年では、生産者の自助努力では解決できない自然災害への対応や、人手不足による輸送コスト高騰の問題等により、生産者の所得増大は図られておらず、将来農業への不安が大きい。本日の要請を通じ、生産現場の状況を理解いただき、持続可能な農業・地域政策を確立できるようお願いしたい」と述べました。

また、県選出国会議員・県農政議員連盟を代表し、野田毅衆議院議員、馬場成志参議院議員、前川收三農政議員連盟会長の3名よりあいさつがありました。その後意見交換へと移りました。意見交換の主な内容については、以下のとおりとなります。

## 質問①

豚コレラについて、ワクチンによる防疫のマイナス面やこれから影響について教えていただきたい。

回答 県選出国会議員  
初動対応のミスがないよう、疑わしい場合は移動禁止とし、封じ込める。

質問②  
回答 県農政議員連盟  
輸送コストが高騰しているため、支援をお願いしたい。

## 回答 県選出国会議員

輸送コストや労働時間については、国交省や厚労省と議論している。

## 質問③

産地パワーアップ事業の補助対象者の拡大と、県における種子法廃止に伴う、種子生産の条例化をお願いしたい。

回答 県選出国会議員  
畜産クラスター事業の交付決定をスピード化にしてほしい。

## 回答 県農政議員連盟

種子法の条例化を検討中である。  
畜産クラスター事業の交付決定をスピード化してほしい。

## 質問④

畜産クラスター事業の交付決定をスピード化してほしい。

回答 県選出国会議員  
畜産クラスターの審査員を増員し、対応はしている。農業者の提出書類の整備をお願いしたい。



▲野田毅衆議院議員と前川県農政議員連盟会長へ要請書を提出したJAグループ熊本の代表者

(1)所得税改正	(2)6.品目別農業政策	(3)農業者の廃業に伴う経営継承等	(4)農協改革	(5)改正農協法「5年後検討条項」を見据えたJA自己改革の後押し	(6)新規就農者の育成	(7)1.国際貿易交渉への対応と影響緩和対策（概要）
(1)水田農業対策	(2)園芸・果樹対策	(3)農業経営の確立	(4)担い手育成等の促進	(5)中小規模・家族経営農業者等多様な農業経営の確立	(6)TPP11等に係る対策と恒久的予算確保	(7)2.「食料・農業・農村基本計画」の見直し(1)日米貿易交渉への対応
(1)労働力確保対策	(2)農業者の廃業に伴う経営継承等	(3)新規就農者の育成	(4)新規就農者の育成	(5)農業経営の確立	(6)TPP11等に係る対策と恒久的予算確保	(7)3.(1)食料・農業・農村基本計画」の見直し(1)日米貿易交渉への対応
(1)改正農協法「5年後検討条項」を見据えたJA自己改革の後押し	(2)新規就農者の育成	(3)農業経営の確立	(4)新規就農者の育成	(5)農業経営の確立	(6)TPP11等に係る対策と恒久的予算確保	(7)4.(1)食料・農業・農村基本計画」の見直し(1)日米貿易交渉への対応
(1)改正農協法「5年後検討条項」を見据えたJA自己改革の後押し	(2)新規就農者の育成	(3)農業経営の確立	(4)新規就農者の育成	(5)農業経営の確立	(6)TPP11等に係る対策と恒久的予算確保	(7)5.(1)食料・農業・農村基本計画」の見直し(1)日米貿易交渉への対応



▲あいさつする県農政連の宮本委員長

## 種子の安定供給に向けた条例の制定を要請

J A グループ熊本と熊本県農業者政治連盟は8月30日、熊本県と県議会に対し、主要農作物種子法廃止にかかる熊本県種子生産に関する要請を行いました。

県庁を訪れたJ A 熊本中央会の宮本隆幸会長は「主要農作物種子法は、昨年4月をもって廃止されたが、熊本県では引き続き種子生産体制を継続するとともに、予算の増額、審査員の増員等、その体制は強化されている。県内農業者の不安払拭のため、種子の安定供給に向けた条例を制定していただきたい」と述べました。

熊本県農林水産部の福島誠治部長は「県としては、種子法廃止後もさらに予算を増額し、農業者の不安を払拭したい。今回、要請があつたことを県知事に報告し、内容についてはきちんと考えていく」と応じました。

主要農作物種子法は、稻、麦、大豆種子の国内自給確保及び食料安全保障に多大な貢献をしてきましたが、種子の品質が安定してきたことから、全国一律で奨励品種決定や、原種・原原種の生産義務付け等を法制化として措置する必要性は乏しくなるとともに、民間事業者が参入しにくい面があるとの理由から、平成30年4月1日をもつて廃止されています。



▲県農林水産部の福島部長㊨へ要請書を手渡すJ A中央会の宮本会長

熊本県では「熊本県主要農作物種子生産改善対策事業運営要領」を施行し、引き続き県の責務として、種子生産体制を維持・継続するとともに、種子生産に係る予算の増額、審査員の増員などその体制強化等へ尽力しています。

しかし、熊本県内の農業者間では、同法廃止による種子の安定供給や品質維持等に対し、不安の声が上がっています。

なお、9月定例会の熊本県議会本会議における代表質問で、主要農作物種子生産に係る県の対応を問われた蒲島県知事は、「次期定例会での条例の提案に向けて準備を進める」と回答しています。

日本貿易交渉は8月23日米ワシントンで、茂木敏充経済再生担当相と米通商代表部（U S T E R）のライトハイザー代表が大枠で合意しています。茂木担当相は、協定内容がほぼ固まった段階を「大枠合意」、協定内容が合意したもの、協定文が完成していない段階を「大筋合意」と説明。協定文が出来上がり、両国が署名した時点で「完全な合意」としています。

米国側は自動車部品を含む幅広い工業製品で一定の関税削減を受け入れます。農業分野では、米国側が重視する牛肉や豚肉の関税を、日本側が環太平洋連携協定（T P P）の水準まで引き下げます。米国産牛肉は現在38・5%の関税がかけられていますが、T P Pと同様、段階的に9%まで引き下げることで合意。豚肉は高価格帯にかける4・3%の関税を10年目にゼロにします。関税をT P P参加国と同様にたちに引き下げ、輸入急増に歯止めをか

## 日米貿易交渉9月下旬に署名へ

安倍晋三首相は8月25日、先進7力国首脳会議（G 7サミット）閉幕を受け、フランス南西部のビアリツでトランプ米大統領と会談し、翌26日（日本時間27日未明）に当地で記者会見を行いました。

日米貿易協定交渉について大枠で合意し「主要項目について意見の一致を見た」と述べ、9月下旬に署名を目指すことを改めて強調しました。

日本貿易交渉は8月23日米ワシントンで、茂木敏充経済再生担当相と米通商代表部（U S T E R）のライトハイザー代表が大枠で合意しています。

茂木担当相は、協定内容がほぼ固まった段階を「大枠合意」、協定内容が合意したもの、協定文が完成していない段階を「大筋合意」と説明。協定文が出来上がり、両国が署名した時点で「完全な合意」としています。

米国側は自動車部品を含む幅広い工業製品で一定の関税削減を受け入れます。農業分野では、米国側が重視する牛

けるため緊急輸入制限措置（セーフガード）を設定する方向です。

日本側が9月下旬に協定へ署名した場合、秋の臨時国会で承認を得て国内手続きを完了させる構えです。

米国側は、合意から発効までに時間がかかる議会承認は省く方針です。日

米両政府は、年内の発効も視野に入れています。

なお、前頁のとおりJ A グループ熊本と県農政連は、県選出国会議員と県農政議員連盟へ左記のとおり要請しています。

国際貿易交渉への対応と影響緩和対策（要請内容）

(1) 大枠合意と報道された日米貿易交渉にあたっては、過去の経済連携協定で約束した市場アクセスの譲許内容を超えることが無いよう断固たる姿勢で交渉に臨むこと。また、その協定内容の情報開示と上記の範囲内かの検証、さらには農業分野における影響試算について速やかに公表すること。

(2) T P P 11 や日EU・E P A に係る対策等については、今後、畜産・酪農をはじめとする農畜産物の輸入増加による打撃が懸念されるため、再生産が可能な対策を継続するとともに、日米貿易協定締結を見据え、T P P 関連対策の予算増額と、補正予算として措置されている同予算については、恒久的に確保すること。

## 永田町でも百姓宣言

### 「食料安全保障の議論が急がれる」

#### 【過去最低に落ち込んだ食料自給率】

農林水産省が公表した食料自給率に驚きを隠せずにはいられません。2018年度のカロリーベースの食料自給率は、37%となり、過去最低の水準にまで落ち込んでしまいました。

が目標とする45%からはほど遠く、少なくともこの10年間、1%も上げることが出来ていません。国は毎年、食料自給率低迷の要因を分析しますが、根本的な要因に対する打開策を打ち出す必要があります。毎年のように自然災害が猛威を振るい、天候不順だけを言い訳にはできなくなっています。地域農業の生産基盤の弱体化に歯止めがかかるない状況が深刻さを増しています。個々に見ると農業経営の規模拡大は進んでいますが、地域で面的に見ると離農される農家の方々を力バーることはできません。

地域農業が活気ある状態で維持されていくには、家族経営を中心とする中小規模の担い手に対する支援が不可欠です。地方では、農業を含めた1次産業が基幹産業で、たくさんの雇用が生まれています。しっかりと農業者の数を維持し、多様な経営体が共存できるような農政の確立に努めます。



▲静岡からの視察団を案内(熊本県内)

#### 【日米間の貿易交渉】

アメリカがTPPからの離脱して以降、日米間の貿易交渉がどうなるのか、私たちには不安なまま過ごしてきました。政府に生産現場の方々に十分な情報提供と説明責任を尽くして欲しいと何度も要請してきました。先日、フランスで行われた日米首脳会談で大枠合意し、9月末の署名を目指し大詰めの議論が行われるということ。「農産品の関税撤廃率については、TPPをはじめとする過去の経済連携協定の範囲内に収まるように作業を進めていく」との説明だけで、私たちの不安は払拭されたわけではありません。やはり肝心なのは、我が国の食料安全保障、農業経営基盤の維持です。最終局面を迎えて、私たちの主張はどうなるか注視し、党の議論をしっかりと後押ししていきます。

## 農政問題に取り込む

### 「三期目の選挙と私の決意」

#### 【皆様のご支援に感謝】

3期目を目指した参議院議員選挙は、皆さんのご支援で当選させていただきました。本当にありがとうございます。

JJA全中や全国農政連の臨時総会等の場をはじめ、御礼を申し上げる機会をいたくことができ、改めて感謝申し上げます。全国を駆け回り、皆様からいただいた負託に応えるべく、向こう6年間、「農に生きる」「地域と生きる」信念で、徹底して頑張ります。

#### 【選挙結果をきちんと総括します】

1期目や2期目と比べて、票を減らす結果となりましたが、こうして当選させていただいたことを振り返り、私自身に何が足りなかつたのか、これまでの議員活動の評価がもたらしたものなのか、農業政策でしっかりと訴えられたのか、きちんと総括します。

私自身に帰する問題は、当然、私の不徳の致すところであり、徹底して反省し、改めて、これから6年間で皆様の信頼回復や、新しい努力を積み上げまいります。多くの皆様のご指導や支えのもと改善し、見直しを徹底します。私は、謙虚に、真摯に、それを行う覚悟です。

げまいります。多くの皆様のご指導や支えのもと改善し、見直しを徹底します。私は、謙虚に、真摯に、それを行う覚悟です。

#### 【反省し、しっかりと頑張ります】

私自身のことを一番に反省し、皆様からのさまざまな意見、それに応えるための対策、そのための決意を定めて取り組みます。農業・農協を取りまく課題は山積していますが、農協改革をしっかりとね返し、農林水産業の担い手づくりと経営所得安定対策の強化をはじめとするさまざまな対策に全力をあげるとともに、地域重視の新しい政策の流れをつくり上げます。そして、力強い協同の取り組みを進めましょう。引き続き、皆様からのご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願ひいたします。



▲TPP交渉における国益を守り抜く会と党のTPP対策本部との合同会議(8月20日)で、日米交渉に対する農業者の不安の声を強く訴え

# JJAかみましき青壮年部活動報告

JJAかみましき青壮年部は、6支部（御船・甲佐・嘉島・益城・矢部・清和）350名の盟友で構成しています。

3年前の熊本地震で甚大な被害を受けましたが、復興へのスローガンとして「負けんばい！かみましき青壮年部！」を掲げ、全盟友一丸となつて事業展開を行つております。



▲熊本地震から復興へのスローガン「負けんばい！かみましき青壮年部！」

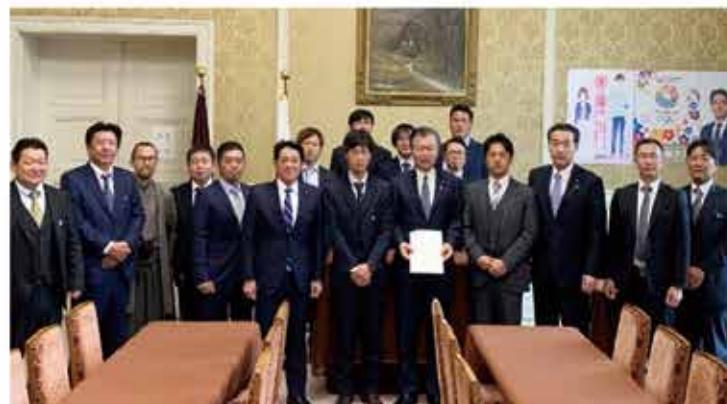
次世代を担う子どもたちに、食の大切さ・農業の素晴らしさを伝え、農業への魅力を理解してもらいたい目的として、各支部で上益城管内の小学校児童を対象に食農教育活動を展開しています。各小学校PTAならびに近隣農家の方々などに協力を得て、田植え・稲刈り・水田観察等を青壮年部盟友の指導により行っています。



▲自分達で育てた稻を刈る小学生



▲食農教育活動の一環として田植えを行う小学生



▲馬場成志、松村祥史、藤木眞也参議院議員へ要請する青壮年部盟友

また、例年2月に東京都で開催される全国青年大会に合わせて、県選出国会議員の方々に対し、農政課題に関する要請書を提出しております。

上益城地域の農業活性化と、若手担い手の知識向上ならびに農業施策の理解を深めるため、全盟友を対象とした学習会を毎年開催しております。学習会では、農業者の代表である藤木眞也参議院議員を講師としてお招きし、最新の農業情勢や青壮年部に対する期待等の講演を聞き、意識の統一を図っています。



▲本年度開催のボーリング大会の様子

## スポーツ交流会

盟友の親睦を図るため、また、JA職員との交流・繋がりを強化するため、スポーツ大会を毎年開催しています。大会はいつも大盛り上がりです。笑顔ありハーフラングありの光景が広がります。



JAかみましき青壮年部農政学

## 農政活動

# JJAかみましき青壮年部活動報告

JJAかみましき青壮年部は、6支部（御船・甲佐・嘉島・益城・矢部・清和）350名の盟友で構成しています。

3年前の熊本地震で甚大な被害を受けましたが、復興へのスローガンとして「負けんばい！かみましき青壮年部！」を掲げ、全盟友一丸となつて事業展開を行つております。



▲熊本地震から復興へのスローガン「負けんばい！かみましき青壮年部！」

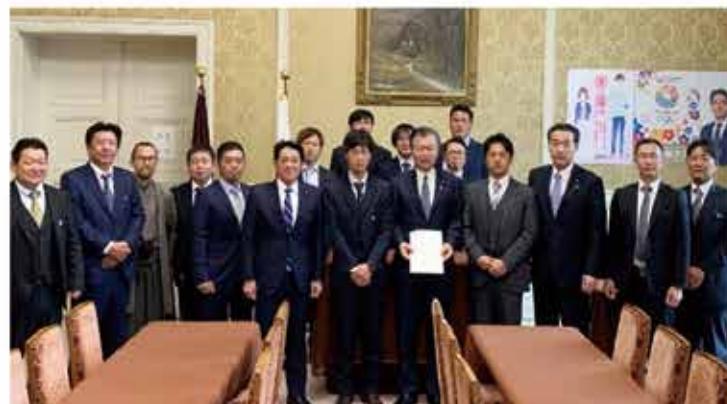
次世代を担う子どもたちに、食の大切さ・農業の素晴らしさを伝え、農業への魅力を理解してもらいたい目的として、各支部で上益城管内の小学校児童を対象に食農教育活動を展開しています。各小学校PTAならびに近隣農家の方々などに協力を得て、田植え・稲刈り・水田観察等を青壮年部盟友の指導により行っています。



▲自分達で育てた稻を刈る小学生



▲食農教育活動の一環として田植えを行う小学生



▲馬場成志、松村祥史、藤木眞也参議院議員へ要請する青壮年部盟友

また、例年2月に東京都で開催される全国青年大会に合わせて、県選出国会議員の方々に対し、農政課題に関する要請書を提出しております。

上益城地域の農業活性化と、若手担い手の知識向上ならびに農業施策の理解を深めるため、全盟友を対象とした学習会を毎年開催しております。学習会では、農業者の代表である藤木眞也参議院議員を講師としてお招きし、最新の農業情勢や青壮年部に対する期待等の講演を聞き、意識の統一を図っています。



▲本年度開催のボーリング大会の様子

## スポーツ交流会

盟友の親睦を図るため、また、JA職員との交流・繋がりを強化するため、スポーツ大会を毎年開催しています。大会はいつも大盛り上がりです。笑顔ありハーフラングありの光景が広がります。



JAかみましき青壮年部農政学

# JJAかみましき青壮年部活動報告

JJAかみましき青壮年部は、6支部（御船・甲佐・嘉島・益城・矢部・清和）350名の盟友で構成しています。

3年前の熊本地震で甚大な被害を受けましたが、復興へのスローガンとして「負けんばい！かみましき青壮年部！」を掲げ、全盟友一丸となつて事業展開を行つております。



▲熊本地震から復興へのスローガン「負けんばい！かみましき青壮年部！」

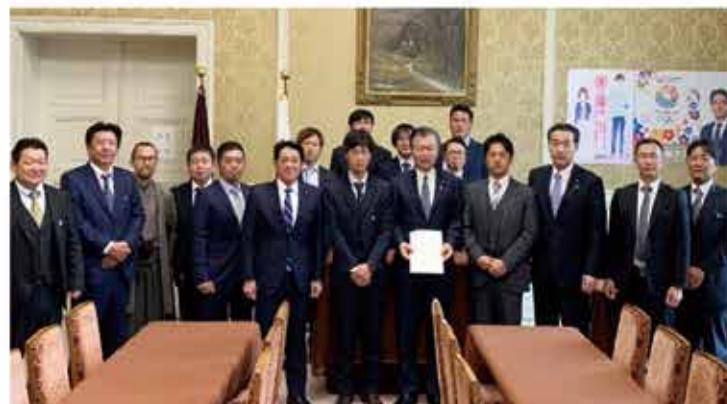
次世代を担う子どもたちに、食の大切さ・農業の素晴らしさを伝え、農業への魅力を理解してもらいたい目的として、各支部で上益城管内の小学校児童を対象に食農教育活動を展開しています。各小学校PTAならびに近隣農家の方々などに協力を得て、田植え・稲刈り・水田観察等を青壮年部盟友の指導により行っています。



▲自分達で育てた稻を刈る小学生



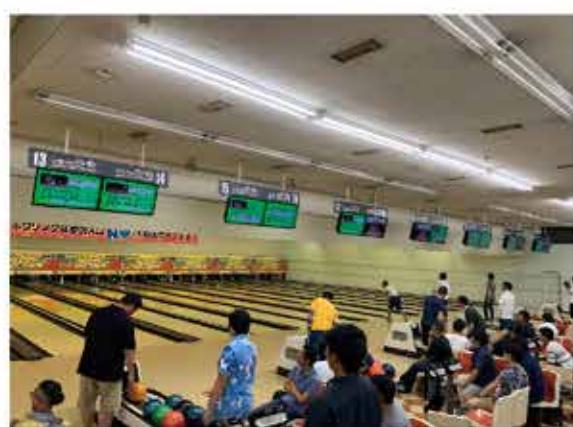
▲食農教育活動の一環として田植えを行う小学生



▲馬場成志、松村祥史、藤木眞也参議院議員へ要請する青壮年部盟友

また、例年2月に東京都で開催される全国青年大会に合わせて、県選出国会議員の方々に対し、農政課題に関する要請書を提出しております。

上益城地域の農業活性化と、若手担い手の知識向上ならびに農業施策の理解を深めるため、全盟友を対象とした学習会を毎年開催しております。学習会では、農業者の代表である藤木眞也参議院議員を講師としてお招きし、最新の農業情勢や青壮年部に対する期待等の講演を聞き、意識の統一を図っています。



▲本年度開催のボーリング大会の様子

## スポーツ交流会

盟友の親睦を図るため、また、JA職員との交流・繋がりを強化するため、スポーツ大会を毎年開催しています。大会はいつも大盛り上がりです。笑顔ありハーフラングありの光景が広がります。



JAかみましき青壮年部農政学

# JJAかみましき青壮年部活動報告

JJAかみましき青壮年部は、6支部（御船・甲佐・嘉島・益城・矢部・清和）350名の盟友で構成しています。

3年前の熊本地震で甚大な被害を受けましたが、復興へのスローガンとして「負けんばい！かみましき青壮年部！」を掲げ、全盟友一丸となつて事業展開を行つております。



▲熊本地震から復興へのスローガン「負けんばい！かみましき青壮年部！」

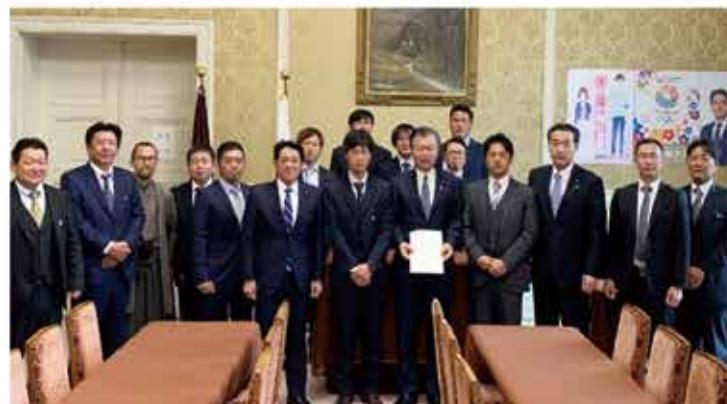
次世代を担う子どもたちに、食の大切さ・農業の素晴らしさを伝え、農業への魅力を理解してもらいたい目的として、各支部で上益城管内の小学校児童を対象に食農教育活動を展開しています。各小学校PTAならびに近隣農家の方々などに協力を得て、田植え・稲刈り・水田観察等を青壮年部盟友の指導により行っています。



▲自分達で育てた稻を刈る小学生



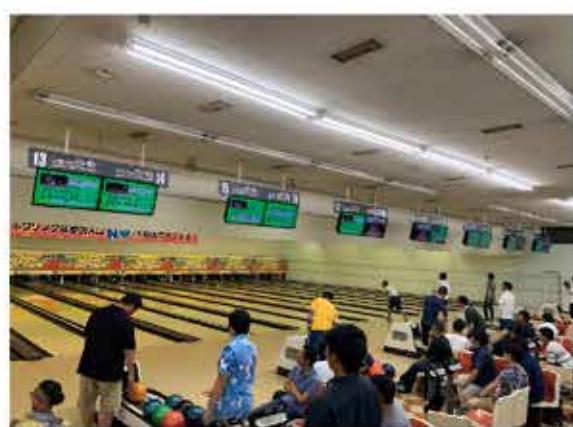
▲食農教育活動の一環として田植えを行う小学生



▲馬場成志、松村祥史、藤木眞也参議院議員へ要請する青壮年部盟友

また、例年2月に東京都で開催される全国青年大会に合わせて、県選出国会議員の方々に対し、農政課題に関する要請書を提出しております。

上益城地域の農業活性化と、若手担い手の知識向上ならびに農業施策の理解を深めるため、全盟友を対象とした学習会を毎年開催しております。学習会では、農業者の代表である藤木眞也参議院議員を講師としてお招きし、最新の農業情勢や青壮年部に対する期待等の講演を聞き、意識の統一を図っています。



▲本年度開催のボーリング大会の様子

## スポーツ交流会

盟友の親睦を図るため、また、JA職員との交流・繋がりを強化するため、スポーツ大会を毎年開催しています。大会はいつも大盛り上がりです。笑顔ありハーフラングありの光景が広がります。



JAかみましき青壮年部農政学

# JJAかみましき青壮年部活動報告

JJAかみましき青壮年部は、6支部（御船・甲佐・嘉島・益城・矢部・清和）350名の盟友で構成しています。

3年前の熊本地震で甚大な被害を受けましたが、復興へのスローガンとして「負けんばい！かみましき青壮年部！」を掲げ、全盟友一丸となつて事業展開を行つております。



▲熊本地震から復興へのスローガン「負けんばい！かみましき青壮年部！」

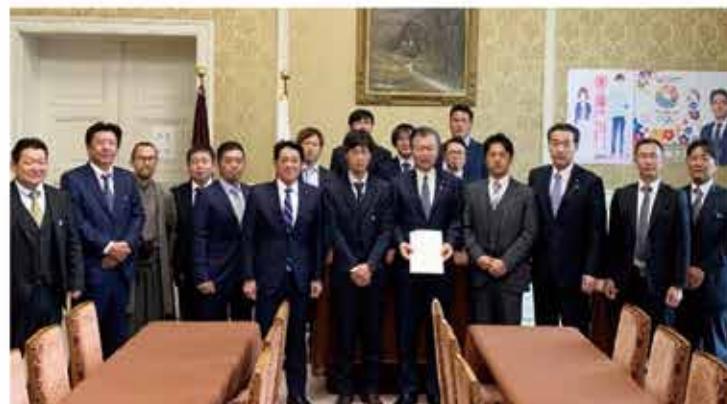
次世代を担う子どもたちに、食の大切さ・農業の素晴らしさを伝え、農業への魅力を理解してもらいたい目的として、各支部で上益城管内の小学校児童を対象に食農教育活動を展開しています。各小学校PTAならびに近隣農家の方々などに協力を得て、田植え・稲刈り・水田観察等を青壮年部盟友の指導により行っています。



▲自分達で育てた稻を刈る小学生



▲食農教育活動の一環として田植えを行う小学生



▲馬場成志、松村祥史、藤木眞也参議院議員へ要請する青壮年部盟友

また、例年2月に東京都で開催される全国青年大会に合わせて、県選出国会議員の方々に対し、農政課題に関する要請書を提出しております。

上益城地域の農業活性化と、若手担い手の知識向上ならびに農業施策の理解を深めるため、全盟友を対象とした学習会を毎年開催しております。学習会では、農業者の代表である藤木眞也参議院議員を講師としてお招きし、最新の農業情勢や青壮年部に対する期待等の講演を聞き、意識の統一を図っています。



▲本年度開催のボーリング大会の様子

## スポーツ交流会

盟友の親睦を図るため、また、JA職員との交流・繋がりを強化するため、スポーツ大会を毎年開催しています。大会はいつも大盛り上がりです。笑顔ありハーフラングありの光景が広がります。



JAかみましき青壮年部農政学

# JJAかみましき青壮年部活動報告

JA中央会

令和最初の夏の甲子園出場の熊工野球部へ

A photograph showing five men in a room. Four men on the left are wearing white shirts and dark trousers, standing in a row. The man on the far right is wearing a dark suit and glasses. He is handing a small gift box with a yellow and red pattern to the man in the middle of the row. The background features a blue banner with white text and logos, including 'Fujita Hospital' and 'Kagoshima University'. The floor is light-colored wood.

▲井上校長へ目録を手渡す宮本会長（右）

JJAグループ熊本は7月31日、第101回全国高等学校野球選手権に県代表として出場する熊本工業高校に、県産米「くまさんの輝き」100kgやJJA阿蘇のトマトなどを贈りました。令和最初の出場校への贈呈式はJJA熊本県会館で行い、同校の井上龍一校長、野球部主将の梶原凌介さんをはじめとする野球部員、関係者など約20名が訪れました。

大会での活躍を期待し、JJA熊本中央会の宮本隆幸会長、JJA熊本経済連の原山寅雄副会長、同経済連の松下隆裕専務が目録などを贈呈しま

県産米「くまさんの輝き」を贈呈

宮本会長は「地元熊本のお米をたくさん食べて、精一杯フレーして頂きたいい」と激励しました。井上校長は「頂いた食材でしっかりと栄養を取り、県民の期待する素晴らしい試合を開催できるよう頑張ります」と意気込みを語り、選手代表の梶原主将は「食べて試合の糧にしたい。しっかりと戦い、長い夏を過ごせるよう頑張ります」と決意表明を行いました。



▲県代表として出場した熊本工業高校の野球部員たち

県産食材を使つたごだわりの冷凍米飯、熊本特産の「玉緑茶」使用のペツトボトル茶「森のくまさん」なども贈りました。同校は6年ぶり21回目の出場。甲子園の本戦では、1回戦突破を成し遂げました。

JA 経済連  
りと和経 ブンとタ イも！」

A photograph showing three people from behind, seated at a table outside. They are looking towards a large circular stage structure where a band is performing. The stage has "EXILE" written on it. The scene suggests they are watching a concert or a special event.

### ▲会場の様子

JA熊本経済連とJAくまもと肉豚銘柄推進協議会（事務局＝JA熊本経済連）は、東京・お台場で開催されたイベント「居酒屋えぐさいる10th ANNIVERSARY」へ協賛し、くまもとのりんどうボーグを使用したタピーポークが販売されました。

くまもとのりんどうボーグは、ビタミンやミネラルを含んだ海藻粉末と小麦などの良質なでんぶん質を含んだ飼料を与えて育てた熊本が誇るブランド県産豚肉です。

EX-LIEU NESMITH氏が、経済連のブランド牛「くまもと黒毛和牛「和王」」のPR大使となつたことがきっかけで、3回目の協賛となりました。

NESMITH氏プロデュースのオリジナルタイピーポーク「フック・フック・こんにちは～」熊本名物タイピーポークは、くまもとのりんど

A white bowl filled with a clear, light-colored broth. Inside, there are pieces of cooked meat, likely chicken, and several slices of radish arranged in a decorative pattern. The bowl is placed on a light-colored surface, and a small green garnish is visible in the background.

▲くまもとのりんどうパークを使用したタイプーエン



うボーケのうまみでコクのあるスープに、たくさんの具材が入った満足のいく一杯となつており、好評でした。経済連畜産販売課は「このような大きなイベントに協賛することで、くまもとのりんどうボーケを県外にもアピールできる。県内外のより多くの人に味わってもらえるよう、これからも認知度向上に努める」と語しました。

## 2人に1人はがんに！9月は「がん征圧月間」です。 JAのがん共済でがんへの備えをしましよう

がんへの備えは大丈夫ですか。がんは、2人に1人がかかるとても身近で危険な病気です。

JA共済では9月の「がん征圧月間」に合わせ、がんへの備えを強化する取り組みを行っています。

現在のがんは、医療技術の進歩による身体への負担が少ない治療法の普及や、がん患者の生存率の向上などにより、がんになった後の「生き続けるための保障」が必要となっています。

J Aのがん共済はそのようなニーズに応えるため、がん治療共済金に加え先進医療保障を備え、現在のが

ん治療の実態に合ったものとなっています。この機会にがんへの備えをご検討されてみてはいかがですか。

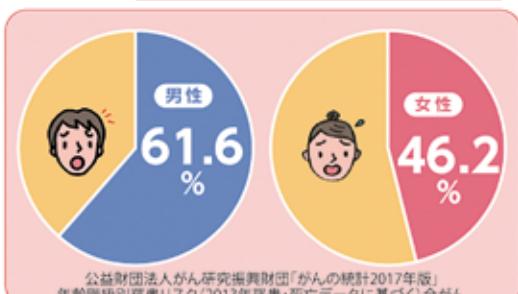
詳しくは、お近くのJA窓口までお気軽にどうぞ！



まだ自分には関係ないと思っていませんか？

**DATA**

一生のうちにがんと診断されるリスク



もしも、がんになってしまったらいらくかかるの？

### #1 胃がんで22日間入院・手術

■40歳・男性・サラリーマン(月収28~53万円)の場合

➡ 医療費総額 約238万円<sup>\*1</sup> ➡

公的医療保険でまかなえる額	自己負担額 <sup>*2</sup> 約19万円	+ その他の自己負担額 約22万円
<b>自己負担額 合計 約41万円</b>		

\*1 平成30年7月現在の診療報酬点数により算出しています。

\*2 入院月(12日間)、翌月(10日間)について、高額療養費の利用あり。

### #2 乳がんで手術後、通院治療(3か月間)<sup>\*1</sup>

■43歳・女性・専業主婦(月収28~53万円)の場合

➡ 医療費総額 約180万円<sup>\*2</sup> ➡

公的医療保険でまかなえる額	自己負担額 <sup>*2</sup> 約23万円	+ その他の自己負担額 約3万円
<b>自己負担額 合計 約26万円</b>		

\*1 手術予防の化学療法を3ヶ月で終了した場合。

\*2 乳がんの入院・手術等における費用は含まれません。平成30年7月現在の診療報酬点数により算出しています。

\*3 1ヶ月目、2ヶ月目について、高額療養費の利用あり。

## 肺がんとは

肺の気管、気管支、肺胞の一部の細胞がなんらかの原因でがん化したものです。

## JA厚生連

## 肺がん

わが国では、厚生労働省の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（平成28年一部改正）」で検診方法が定められています。

肺がんの検診方法としては、

①「問診」

②「胸部X線検査」

③「喀痰（かくたん）細胞診」

組織を破壊しながら増殖し、血液やリンパの流れにのって広がります。

肺がんは早期では無症状の場合が多く、病状の進行とともに様々な呼吸器症状があらわれます。

### 【症状】

肺がんは早期では無症状の場合が多く、病状の進行とともに様々な呼吸引起症状があらわれます。

- ① 咳（せき）
- ② 痰（たん）
- ③ 血痰
- ④ 発熱
- ⑤ 呼吸困難
- ⑥ 胸痛

しかし、これらは必ずしも肺がんに特有のものではないため、他の呼吸器疾患と区別がつかないこともあります。

がん研究が進み、がんの多くは「治癒（ちゆ）」が期待できるようになりますが、進行して見つかると、治療が難しい場合も多く、早期発見が非常に重要になりますので、毎年、人間ドックやがん検診を受けましょう。

また、進行の程度に関わらず、症状がほとんどみられない場合もあり、検診などの胸部X線検査やCT検査によって発見されることもあります。

### 【肺がん検診】

がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことです。がんによる死亡を減少させることです。



なないろ  
デザイン

# がん共済

くらしの保障、相談するなら JA共済

19481050134

hug  
（株式会社カネダ  
セミマーケティング）

QRコードから、「hug」最新号と  
直売所の動画がご覧いただけます！

31

J.A.グループ熊本

2019 Photo Contest Kumamoto

## 第8回 未来に伝えたい 農業・農村の風景 フォトコンテスト

応募テーマ  
「農業・農村の美しい四季の風景」「風景と農作業」「地元の祭りや催事」「農畜産物を食べている人物の写真」など  
web・スマートフォンからご応募ください。

web 応募先  
<http://rkk.jp/japhoto/>

スマートフォン応募先  
[japhoto@rkk.jp](mailto:japhoto@rkk.jp)

■主催/JAグループ熊本、RKK熊本放送 ■協賛/「みどり・食・環境基金」 ■後援/熊本県、熊本県教育委員会、熊本日日新聞社

## ストップ! 農作業事故!!

—農作業安全運動実施中—

全国で 農作業事故が多発

転落 接触  
安全確認忘れずに！  
挟まれ 熱中症

超っていますか？ 災害救助見舞金

JAグループ熊本

●盟友の皆様のご意見や周辺地域の話題、写真などをお寄せ下さい。  
連絡先 熊本県農業者政治連盟  
(電話) 0961-328-11284 FAX 0961-326-15807 JA 熊本県会館10階

栗は種子のため、ナッツ系となります。しかし、脂質の多い他のナッツ系に比べ、栗は主成分であるデンプンが約半分を占めているため、脂質が少なくヘルシーです。ビタミンCも豊富で、ジャガイモと同じようにデンプン質に包まれており、加熱しても損失なく摂取できます。疲労回復に役立つビタミンB1、老化防止に役立つB2、高血圧予防や動脈硬化に効果のあるカリウムなども含まれています。また、皮には抗酸化活性が極めて強い、ボリューノールの一種であるタンニン・プロアントシアニジンが多く含まれており、老化防止やガンの予防効果が期待されます。

第6回「がんばろう熊本 未来に伝えたい農業・農村の風景」フォトコンテストの入選作品の1点です。



撮影者 岩崎 光雄様(熊本市)

が  
あ  
き  
と

「栗拾い」